

今週のセルグループ(赤字)			6月26日(日)~7月2日(土)	
グループ	次回の日時	場所	人数	前回の証しなど
リバイバル 北山姉		LINE 電話	1/26 名	中止
グレイス 鈴木千姉	7/1(金) 午後8:45	鈴木宅	6/17 3名	聖霊様が語っておられたのに、自分が王座に座っていた。
Gospel 鈴木尚姉	7/9(土) 午後1:00	Zoomで 分かち合い	6/18 2名	方針を教えてくださいましたのは神様だから、来週も信頼していこうと思う。
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	6/19 7名	神様が解決して下さると受け取り心が守られて仕事に取り組む事が出来ました。
からし種 磯貝姉	7/14(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	6/9 4名	スイッチが入りそうだとわかった時に、主の声により止めることができ主に感謝します。
ユース 岩下兄	7/8(金) 午前10:00	LINEで 分かち合い	6/5 3名	メッセージで語られて、救いを信じて祈ることを示されて、祈りのリストに加えた。
Rock 鈴木洋兄	6/29(水) 午後8:30	鈴木宅	6/15 3名	今までは面倒臭いと思って対処して来なかった。しかし示されて、すぐに連絡を取った。
シャローム 平岩姉	7/2(土) 午前10:00	平岩宅	6/11 4名	主の声を聞くようにすると、イラッとしていた相手にも感謝の気持ちが沸き上がった。
なつめやし 高橋智姉	7/10(日) 練習後	高橋宅	6/18 4名	一番経験も知識もない。自分なりに作業をしてはいけない。すがっていかないといけない。
リジョイス 杉本姉	7/5(火) 午前10:15	LINEで 分かち合い	6/17 3名	御霊に満たされることを求め御霊によってセルを行わせて頂かなくては立ち行きません。
ジョイフル 穂苅兄	7/3(日) 礼拝後	交わり	6/5 8名	それぞれの課題を祈りました。
アガベ 長塚姉	6/26(日) 練習後	コミュニテ イセンター	6/12 4名	つまらない事で言い争わなくて良いように主が私の感情を収めて下さった。
サクセス 鈴木勝兄	6/26(日) 礼拝後	コミュニテ イセンター	6/12 14名	自分から挨拶をしたら相手が今まで見たこともない笑顔になった。現場の実践が速み。
リーダーズ セル	7/13(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	6/8 26名	毎秒毎秒、神の声を聞いて生きられるのだと信じる。そして現場で実践する。
セル研修	休講			
ビジョン 平岩恵兄	7/3(日) 午後2:30	Zoomで 分かち合い	6/5 2名	人間的な努力ではどうしてもできないことに神様が介入してくださっている。
worship 長塚寛兄	6/26(日) 礼拝後	コメダ	6/12 4名	交わりをしました。メンバーが更に明るく楽しく神様と歩むように祈り続けます。
高校生 平岩姉	6/26(日) 午前9:00	コミュニテ イセンター	6/19 3名	神様が交わりが必要だと語られているんだという思いになって、神様に聞いて過ごした。
中学生 梅田姉	6/26(日) 午前9:00	コミュニテ イセンター	6/19 5名	焦ってた。神様は、一問一問、気をつけなさいと語られたので、そのようにした！
キッズ2 小山姉	6/26(日) 午前9:00	コミュニテ イセンター	6/19 3名	<b>セルリーダーのためにお祈りください。</b>
キッズ1 芳井姉	6/26(日) 午前9:00	コミュニテ イセンター	6/19 5名	神様は三位一体だってわかった。聖霊なる神様は、神様のことを思い出させてくれる。
Shine 小原姉	6/26(日) 午後4:30	小原宅	6/12 5名	主に聴きながらアドバイスをする事ができました。現場で聴くことがわかりました！
ギデオン 芳井兄	7/9(土) 午後6:30	芳井宅	6/11 3名	「どうですか慣れましたか。」主が共におられる。見ていてくれる。励まされた。
カルバリ 野田兄	7/5(火) 午前9:00	野田宅	6/7 4名	「お証しをしなさい！」と主から語られたので連絡を取った。救いのため皆で祈った。
神の家族 伊岐見真姉	6/27(月) 午後8:30	LINEで 分かち合い	6/14 2名	私には神様がいる。いつも一緒にいてくれる。

礼拝奉仕	聖日礼拝		祈祷会	
	司会	奏楽		奏楽
今週 6/26(日)	I	鈴木千姉	6/30(木)	鈴木千姉
	II	岩下栄兄		
来週 7/3(日)	I	大高愛姉	7/7(木)	鈴木尚姉
	II	大高愛姉		

※ 来週7/3(日)のキッズセルはお休みです。

※ 来週7/3(日)の礼拝バイブルスタディは休講です。

※ 日曜礼拝バイブルスタディが第二礼拝と並行して行われています。受講者の方には係りから直接連絡があります。第一礼拝に出席してからご参加下さい。祝福をお祈りください。

**祈りの課題**

- ・人々の救いを覚えて
  - ▶ 家族知人をキリストへ
  - ▶ 教会近隣の人々の救い
  - ▶ 東海地方の救いのために
  - ▶ 日本の救いのために
  - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
  - ▶ バイブルスタディの働き
  - ▶ リバイバルワイヤーの働き
  - ▶ リバイバルママズの働き
  - ▶ 那古野アウトリーチの働き
  - ▶ 祈祷会の祝福
  - ▶ 日曜礼拝の祝福
  - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
  - ▶ セルグループの祝福
  - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレイヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈祷会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷 (土曜)	午前 6:00~ 7:00

# 主の御手 週報

## NO.1404

2022年6月26日(日) 発行 6月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、  
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

### 日曜礼拝

開始 9時 (第一礼拝)  
開始 11時 (第二礼拝)  
開始 14時15分 (浜松礼拝)

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・自由献金 (本日は、プレイヤーハウスのための献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

**お願い**

(1) 礼拝後は、必ずコインロームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コインロームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **[平安]** 志の堅固な者を、あなたは全き平安のうちに守られます。その人があなたに信頼しているからです。(イザヤ書 26章 3節)

## 日曜日は教会へ

主の御手がともにある  
**名古屋バイブルチャーチ**

〒451-0012 名古屋市西区那古野2-20-19  
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「黙示3：20 見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」

## 主に心を開く

### 人との距離感

みなさんは、電車に乗る時、車両に誰も乗客がいなかったとしたら、向かい合わせになっている座席のどの位置に座るでしょうか。恐らくほとんどの人は、長いシートが一番端に座るのではないのでしょうか。男性用のトイレでも一番奥の便器を選んだり、飲食店でも基本的に一番奥や一番端の席を好んで座ることが多いと思います。

この心理は、私たちが日常、無意識に感じているパーソナルスペースと呼ばれるものです。誰でも「これ以上近づかれると不快に感じる」というテリトリーを持っています。夫婦や親子、恋人など親密な関係であればあるほど、その距離は近くなります。赤ちゃんは、ずっとお母さんに抱っこをされたりして身近にいます。お母さんと子供の距離はまったくありません。反対に、ガラガラの電車の車内で、見知らぬ人が自分のすぐ隣の席に座ろうとしたら、誰でも不信感を抱きます。私たちは、普段から無意識のうちに人との距離感を感じながら生活をしています。

### 主に心を開くとは、主の助けを受け入れること

では、私たちと神様との距離感はどうでしょうか。主は、信じる私たちの内に住んでおられるお方です。そして私たちのことを他の誰よりも、また私たち自身よりも私たちのことをよく知っておられます。そういう意味では、神様と私たちとの距離感はまったくありません。

しかし主は、私たちの同意なしに心の中を勝手にこじ開けて入って来られるようなお方ではありません。私たちの側からすすんで主をお迎えする時に、私たちと親しく交わりを持ってください。主は私たちを「助けたい」「自由になってほしい」と心から願われて、心の戸をノックしてください。

私たちが主に心を開くということは、自分の心を主に明け渡し、助け主として主を心のうちに迎え入れることです。心の隅々まで支配していただくことです。私たちは、何事をするにしても、主に助けられなければ正しく行うことができません。「今日やるべき仕事をどのように進めて行こうか」と考えたり、それを行動に移すことも、主に助けられなければ、焦ってしまったり失敗をしてしまったりします。例えば、人に何か用件を伝えることでも、どのように伝えたら伝わるだろうかということの主から言葉や知恵をいただかなければ、愛を持ってその人のために伝えてあげることができません。私たちは主の助けを喜んで受け入れなければ、正しいことをおこなって行くことはできない者ではないでしょうか。

### サマリアの女は主に心を開いた

イエス様は、ある一人のサマリアの女に近づいて声をかけられました。彼女は、初めイエス様を警戒していました。それはサマリア人とユダヤ人が民族的に対立関係にあったからでした。しかし彼女は、イエス様が言われたことばの背後にある何かを感じて、少しずつ心を開いて行きます。彼女には、人には言えない問題がありました。イエス様は彼女を助け、自由にするために、旅のルートをわざわざ変更してまでやって来られました。イエス様は、彼女のその隠しておきたかった問題に切り込んでいかれました。言い当てられた彼女はドキッとしました。そして、キリストと呼ばれる救い主が、今まさに目の前で話しているこの人だと知った彼女は、自分の身に起きた出来事を周りの人たちに知らせました。彼女の人生はイエス様に出会ったことによって、それまでの身を隠して生きるような生き方から、過去と決別をして責められることなく、人前に堂々と出て生きられる人生へと大きく変えられました。彼女は、主の助けを喜んで受け入れました。私たちも、主に心を開き、主の助けを喜んで受け入れるその先に、問題の解決が与えられることを信じます。

### 主に心を開く時、自由にされる

私は、救われるまで、自分の感情や思い、抱えている問題を隠して生きてきました。問題を抱えつつもどうしたらよいのか分からず、その間はとても心が不自由でした。しかし、みことばに語

られ示される中で、主が私の心の戸をノックしておられることがわかりました。そしてその御声に応答しました。それは、自分には問題があることを認めて、その問題を自分ではどうすることもできないと認めて、主の助けを受け入れることでした。また、カウンセリングやセルでの分かち合い、また人前で話す機会などを通して、自分の思いや感情を言葉で表したり、自分の問題について周りの人や神様に話をしてきました。自分の心を開示して主に解決を求めてきました。イエス・キリストに答えがあると知っただけで、将来に対する希望が与えられ、喜びにあふれました。そして主に求めて行ったその先に、多くの問題の解決をいただきました。

ガラテヤ5：1には、「キリストは、自由を得させるために私たちを解放してくださいました。」とありますが、主が私たちを救ってくださったのは、私たちを罪の縄目から解放して自由を得させるためでした。主は、私たちの苦しみを知っておられ、抱えている罪の問題や重荷を負ってくださるために十字架にかかられました。私たちは罪赦され自由の身とされました。主のみもとに本当の自由、安らぎがあります。私たちはそれを手にすることができ恵みにあずかっています。私たちは今、主に心を開いて主のふところに飛び込んでまいりましょう。その先に主にある解決が与えられることを信じます。(岩下 栄作)